

岩手県議会議員 **がんばってます!**

# 佐々木順一



## 佐々木順一のプロフィール

氏名	佐々木 順一
ふりがな	ささき じゅんいち
生年月日	昭和27年1月29日
最終学歴	東北学院大学法学部（昭和49年3月卒）
主な役職	昭和49年 4月 自由民主党岩手県支部連合会職員 平成 5年 9月 衆議院議員小沢一郎秘書 平成 7年 5月 岩手県知事増田寛也政務秘書
主な議会歴	平成11年 4月 岩手県議会議員初当選、以来連続6期 平成11年 7月 岩手県議会経済対策特別委員会副委員長 平成13年 6月 岩手県議会議会運営委員会副委員長 平成17年 3月 岩手県議会予算特別委員会委員長 平成17年 6月 岩手県議会総務委員会委員長 平成23年 4月 岩手県議会災害対策特別委員会委員長 平成27年 9月 岩手県議会東日本大震災津波復興特別委員会委員長 平成29年 9月 岩手県議会議長
主な党役職歴	平成19年 民主党岩手県総支部連合会幹事長 平成24年 国民の生活が第一岩手県総支部連合会幹事長 平成25年 生活の党岩手県総支部連合会幹事長 平成28年 自由党岩手県総支部連合会幹事長
現在	岩手県議会議員定数等検討会議議長（令和2年3月24日選任） 立憲民主党岩手県総支部連合会幹事長（令和2年10月11日選任）
資格など	平成31年 1月 防災士資格取得

通しは未だたっていないものの、三つの重点分野への予算措置はポストコロナを見据えた課題に対応したものといたえます。

（※なお、花巻市管内における農業土木を含めた公共事業の箇所別当初予算額は別項に掲載しました）

総額7,922億円に上る令和4年度岩手県一般会計当初予算案は、3月25日の二月定例会最終本会議において全会一致で可決されました。新年度予算は、厳しい財政状況にありながらも、コロナ対策として966億円が計上されるとともに、人口減少社会への対応、デジタル化の推進、グリーン（気候変動対策）社会の実現の三つの重点分野が設けられ、これらに総額100億円を越える予算措置がなされたことが特徴となっております。新型コロナウイルス感染症の終息の見

## 2月定例会

# 7,922億円のR4年度当初予算可決

## 水田活用直接支払交付金の

## 見直し中止を求める請願

## ALPS処理水の海洋放出基本方針の

## 撤回を求める請願

自公などにより否決



# 水田活用の直接支払い交付金の見直しの中止について

今議会で最大の対立点となったのが農業関係者や漁業関係者が強い関心を寄せていた「水田活用の直接支払い交付金の見直しに関する請願」と「水田活用の直接支払い交付金の見直しの中止を求める請願」の二つと「東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出基本方針を撤回し、安全な処理、保管方法の確立を確立を求める請願」でした。

水田活用交付金の見直しは、昨年12月に政府与党から唐突に示され稲作農家から大きな批判がでております。すなわち今後5年間で水田に水を張らない場合は交付対象にしないこと、永年性牧草をはじめ転作対象として各地域が取り組んできた作物への交付水準を軒並み下げることなどを柱としたものです。

麦、大豆、飼料作物は、コメと違い水はけのよい土地を好むため、農家が長い時間と費用をかけて田んぼを改良してきました。

た。しかし、これに水を張りなさいというのは収量の減少や病気の発生を誘発するもので、二月定例県議会の県側の答弁で「最大5割の減収」が見込まれることが明らかになりました。見直しが進めば収入減につながることは明白です。

今回の政府・与党の見直しは、現場の実態をまったく無視しただけでなく、これからの日本の農業全体の将来像や地方のありようをまったく描いていないまま進められたもので無責任な中身といわざるを得ません。

このような考えに立ち、岩手県議会希望いわて会派は「水田活用の直接支払い交付金の見直しの中止を求める請願」に全面的に賛成しました。共産党、社民党なども同

定するなど約束を反故にしようとしております。福島県のみならず三陸沿岸や全国の漁業者で構成されている全国漁業協同組合連合会、岩手県市長会、東北市長会も政府の方針に反対を表明しております。

主力魚種の水揚げ不振により浜の活気が失われるなど震災復興に水を差している中、ALPS処理水の海洋放出が行われれば、風評被害によってこれまでの努力が無駄になるとの強い危機感が本県漁業界に広まっております。

今回の請願に対する賛否で明らかになったことは、自民、公明、いわて新国会、いわて県民クラブは農業者、漁業者の切実な声を切り捨てたという事実ではないでしょうか。賛否の状況は別項のとおりです。



じ立場に立ちました。

一方、「水田活用の直接支払い交付金の見直しに関する請願」、すなわち「見直し容認」に賛成した会派は、自民党、公明党、いわて新国会、いわて県民クラブでした。採決の結果、「見直しの中止を求める請願」は否決され「見直し容認の請願」が可決、これを踏まえた意見書が政府に提出されたことは極めて遺憾です。

なお、立憲民主党の小沢一郎衆議院議員、木戸英司、横澤高徳両参議院議員は、国に対し経済対策として交付単価を従来どおりとするよう求める提案を行っております。

# 水田活用交付金の見直しとは

そもそも減反政策を発端としたもので、田んぼを守りながらコメからの転作を進めるため、飼料用米や麦、大豆、牧草などの飼料作物を栽培する農家に対して支払われる交付金です。食糧自給率の自給力の向上も目的とされており、しかしながら、今回の見直しでは永年性牧草の交付単価が3万5千円から1万円に引き下げられるのはじめ交付単価も引き下げられる内容となっております。



# ALPS処理水の海洋放出基本方針の撤回について

「東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出基本方針を撤回し、安全な処理、保管方法の確立を求める請願」は、水田活用交付金の請願と同様に自民党、公明党の会派に加え、多くの沿岸選出議員を抱えているいわて新国会のほとんどといわて県民クラブが反対に回り否決されました。

ALPS処理水は、原子力事故に伴って放射能に汚染された水を多核種除去施設(ALPS)を通じて処理した水ですが、現在の技術では人体や生物への影響があるとされるトリチウムは除去できないなどの問題が指摘されており

「関係者の理解なしにいかなる処分も行わない」と強調してきた政府、東京電力と地元漁業関係者との約束があるにもかかわらず、政府は来年の春にも処理水の海洋放出をする方針を決

東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出基本方針を撤回し、安全な処理、保管方法の確立を求める請願					「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願					請願
日本共産党・他	いわて県民クラブ	いわて新国会	自由民主党	希望いわて	日本共産党・他	いわて県民クラブ	いわて新国会	自由民主党	希望いわて	会派
齊藤 信 高田 一郎 千田美津子	高橋 但馬			伊藤 勢至 佐々木順一 関根 敏伸 高橋はじめ 小西 和子 郷右近 浩 名須川 晋 岩淵 誠 佐藤ケイ子 柳村 一 菅野ひろのり 岩城 元 千葉 秀幸	齊藤 信 高田 一郎 千田美津子				伊藤 勢至 佐々木順一 関根 敏伸 高橋はじめ 小西 和子 郷右近 浩 軽石 義則 名須川 晋 岩淵 誠 佐藤ケイ子 柳村 一 菅野ひろのり 岩城 元 千葉 秀幸	賛成
木村 幸弘 (社民党) 上原 康樹 (無所属)	飯澤 匡 工藤 勝博 佐々木 努 ハクセル美穂子 千葉 絢子	工藤 大輔 中平 均 小野 共 吉田 敬子 佐々木朋和 千葉 盛	千葉 伝 工藤 勝子 岩崎 友一 佐々木茂光 城内よしひこ 神崎 浩之 川村 伸浩 白澤 勉 佐々木宣和 山下 正勝 高橋 穂至 武田 哲 米内 紘正 高橋こうすけ	軽石 義則	飯澤 匡 工藤 勝博 佐々木 努 ハクセル美穂子 千葉 絢子	工藤 大輔 中平 均 小野 共 高橋 但馬 吉田 敬子 佐々木朋和 千葉 盛	千葉 伝 工藤 勝子 岩崎 友一 佐々木茂光 城内よしひこ 神崎 浩之 川村 伸浩 白澤 勉 佐々木宣和 山下 正勝 高橋 穂至 武田 哲 米内 紘正 高橋こうすけ			反対
小林 正信 (公明党)					小林 正信 (公明党)					

## 令和4年度当初予算における花巻市管内の主な事業 県土整備部関係

(単位：百万円)

区分	事業名	路線等	箇所名	令和4年度 予算額(案)	摘要
道路	道路維持修繕	国道456号	上浮田～寿沢	44	舗装補修
道路		一般県道 石鳥谷大迫線	亀ヶ森	30	舗装補修
道路		一般県道 羽黒堂二枚橋線	羽黒堂～八重幡	30	舗装補修
道路	道路環境改善事業	主要地方道 花巻大曲線	豊沢トンネル	50	トンネル補修
道路		一般県道 東和花巻温泉線	宮野目跨線橋	110	橋梁補修
道路		国道283号	東晴山1の橋	40	橋梁補修
道路		一般県道 東和花巻温泉線	花巻大橋	59	橋梁補修
道路		一般県道 石鳥谷大迫線	大正橋	50	橋梁補修
道路		一般県道 山の神西宮野目線	花巻跨線橋	35	橋梁補修
道路		一般県道 羽黒堂二枚橋線	滝田	43	歩道整備 写真①
道路		主要地方道 盛岡和賀線	大瀬川	38	歩道整備 写真②
道路		地域連携道路整備事業	一般県道 花巻和賀線	花巻 PASIC	37
砂防	砂防事業	北上川水系	岩の目の沢	110	砂防堰堤の整備
空港	空港整備費	いわて花巻空港	葛	584	エプロン・滑走路等補修等

注1 当部の普通建設事業（一般会計）のうち、3,000万円以上の予算額を計上している箇所（除く調査費）を計上しています。

注2 国庫支出金の内示等を受け、事業費や事業箇所が変更となる場合があります。

注3 端数調整により、計数が一致しない場合があります。



① 一般県道 羽黒堂二枚橋線・滝田地区（歩道整備）



② 主要地方道盛岡和賀線・大瀬川地区（歩道整備）

## 令和4年度当初予算における花巻市管内の主な事業 農林水産部関係

(単位：百万円)

市町村名	事業名	施設等箇所名	事業概要	予算額		総事業費	事業期間
				R04当初	R03補正		
花巻市	土地改良事業調査 (県営・県単)	田沢、十二丁目堰	県営土地改良事業の実施に向けた事業計画の策定等	17			～
石鳥谷町	土地改良事業調査 (県営・県単)	大興寺、大瀬川、北寺林八幡		35			～
東和町	土地改良事業調査 (県営・県単)	小山田、石鳩岡、前田北部		28			～
花巻市	経営体育成基盤整備事業	柴沼、太田、鍋割、大沢、外台	地域の中心となる経営体の育成を図るため、農地中間管理機構と連携を強化し、ほ場の大区画化や排水改良など生産基盤の整備と農地中間管理権の設定等による担い手への農地利用集積を一体的に推進	184	326	7,863	H29～R12
東和町	経営体育成基盤整備事業	砂子		13	36	2,463	R2～R11
花巻市	農業基盤整備促進事業	湯口4、万丁目5、東山居2、糖塚2、北湯口、桐ノ目2、浮田揚水機、鍋割川2、円万寺3、倉沢揚水機、宇津野、湯本8、新田	農地の区画拡大や暗渠排水整備等による耕作条件の改善を機動的に実施し、担い手への農地集積・集約化を加速させ、農業競争力の強化を図る	159		159	R4～E4
花巻市	土地改良施設維持管理適正化事業費補助	猿ヶ石北部、豊沢川、石鳥谷東部	土地改良施設の診断・管理指導の結果、整備・補修が必要と認められた施設について、適正化実施計画に基づき整備・補修を実施	16			～
花巻市	国営造成施設管理体制整備促進事業	豊沢川、猿ヶ石北部	県と市町村が連携し、国営造成施設及び国営附帯県営造成施設を管理している土地改良区に対して、農業水利施設の持つ多面的機能の発揮のための管理体制を整備	8			～
大迫町	林道整備事業	漆山	開設工事92(250)mほか	35		980	H30～R9
花巻市	治山事業	高円万寺	谷止工1式	30		30	R4～R4
花巻市	農村地域防災減災事業費	炭焼沢	近年、集中豪雨や地震等により甚大な被害が頻発する中、効果的な防災・減災対策を講じるため、農業用施設・ため池の整備状況や利用状況等を把握し、地域の実情に即した施設の整備や保全等を総合的に実施	13	50	265	R1～R4
管内不定	農村地域防災減災事業費	東和北		0		795	H27～R6
東和町	農村地域防災減災事業費	東和北、東和南		66	112	1,305	H27～R6
東和町	経営体育成基盤整備事業 (農地中間管理機構関連 農地整備事業)	平良木	地域の中心となる経営体の育成を図るため、農地中間管理機構と連携を強化し、ほ場の大区画化や排水改良など生産基盤の整備と農地中間管理権の設定等による担い手への農地利用集積を一体的に推進	19	903	2,951	R1～R6
花巻市	水利施設管理強化事業費	豊沢川、猿ヶ石北部	集中豪雨の頻発化等によって農業水利施設の公的な役割が増大し、施設管理が複雑化・高度化していることから、管理経費に対する支援を行い、農業水利施設の有する多面的機能の適正な発揮を確保	41			～
花巻市	林業成長産業化総合対策 事業費 (施設等整備事業費補助)	(株)岩手ウッドパワー	木質資源バイオマスボイラー2台	25		54	R4～R4
大迫町	林業成長産業化総合対策 事業費 (施設等整備事業費補助)	(株)佐藤木材	フォワーダ1台	8	12	26	R3～R4

## 木戸口参議院議員とともに 地震災害調査を行う

最大震度5強を県内で観測した3月18日の地震を受け、立憲民主党県連では直ちに被害調査に当たった。

3月19日には、新幹線が不通になったことから空路で岩手入りした県連緊急事態局長の木戸口英司参議院議員と同最高顧問・小沢一郎衆議院議員は地元県議らとともにJA江刺園芸センターを訪れ選果機など被害が生じている現状を視察した。続く3月21日には、私も木戸口参議院議員に同行、野田村の一般県道安家玉川線の落石被害現場を視察、直ちに県当局に早期復旧を申し入れた。

被害の状況は、延長約15m区間で山側斜面（高さ20m～25m程度）の上部からの落石により通行止めとなったもので、県は、3月22日、延長15m高さ2mの大型土のうを設置するなど応急対策を講ずるとともに、国の「災害復旧事業」による復旧を視野に対応を検討している。通行止めは解除されている。



崩落した頂上を見上げる木戸口参議院議員

令和4年度の一般会計補正予算は3月25日の本会議で可決されました。8億円余りの予算のうち、5億5,000万円は「いわての食応援プロジェクト」関連です。これは「いわて飲食店安心認証制度」の認証を受けた飲食店で利用できるプレミアム付き食事券を発行し、感染対策に取り組む飲食店を応援する取組です。

プレミアム付き**食事券の販売・利用を令和4年5月13日（金）から開始**することとし、**プロジェクト参加飲食店を募集していますので、お知らせします。** 詳細は公式ホームページをご覧ください ⇒ <https://www.iwate-gotoeat.jp/>



	第1期	第2期	計
①名称	いわての食応援チケット2022(春・夏)	いわての食応援チケット2022(秋・冬)	
②販売価格	1冊5,000円(500円×10枚綴り)の食事券を4,000円で販売 ※25%プレミアム ※販売冊数上限 1人1回当たり販売価格20,000円分まで		
③発行冊	20万冊	15万冊	35万冊
④販売期間	5月13日(金)～7月31日(日) ※売切れ次第終了	9月1日(木)～11月30日(水) ※売切れ次第終了	
⑤利用期間	5月13日(金)～8月31日(水)	9月1日(木)～12月31日(土)	

IWATE PREFECTURAL ASSEMBLY MEMBER  
岩手県議会議員

さ さ き じゅん いち  
佐々木 順一



佐々木順一  
がんばってます!

「約束は守る」それが政治だ!

活動内容を、  
佐々木順一日記に  
書いております。  
アクセスして  
みて下さい。

